

■■受験対策ミニ講座 21 号 2018■■

平成 29 年度もあとわずか、秋から始まった受験対策ミニ講座も今回で一旦終了します。28 期生の方で引き続き、配信をご希望される方は、改めてホームページよりご登録ください。事務連絡等ありますので、29 期生の方は再登録の必要はありません。

＊お知らせ＊

○29 年度修了者（第 30 回国家試験受験対象者）に国家試験等に関するアンケートを発送しております。アンケート集計結果は、厚生労働省への報告が義務付けられているため、必ずご回答及びご返送をお願いいたします。

※ご返送のない方には、直接お電話等で伺う場合があることをご了承ください。

※国家試験の個別の合否状況につきましては、ご本人からの報告がない限り、本養成所での把握が難しいため、次年度以降試験に合格された方は必ず本養成所までお知らせください。

■Plus Column

【鏡をのぞいて】

試験を終えてホッとしている方、来年の受験準備を始めている方へ、今回は映画情報をお届けします。

今年のアカデミー賞作品賞は、手話を使う女性とアマゾン河の「不思議な生物」とのラブファンタジー、「シェイプ・オブ・ウォーター」が獲得しました。舞台はスパイも暗躍する冷戦時代のアメリカ。手話や音楽を通じて心を通わせた二人が周囲の理解者と共に巨大な権力と闘う友情物語として、また「言語としての手話」というテーマ性も感じられる作品として鑑賞しました。

受賞は逃したものの、楽曲が主題歌賞にノミネートされて話題を呼んだ「グレイテスト・ショーマン」は、19 世紀後半のアメリカでショービジネスの基本形を作った実在の人物が主人公のミュージカルです。「ユニークな身体の人」を募集してショーをするというアイデアが当たって多くの観客を集める一方で、「この街から出て行け」という迫害もあり、厳しい排除も描かれます。「ユニークな身体」とは、低身長や肥満なども含めて“多数派ではない人たち”のことで、主題歌の♪*This Is Me* という曲に合わせて「排除や差別にあっても、これが私」と多様な人々が力強く歌い、踊る場面が印象的でした。

日本でも寄席や見世物小屋で「ユニークな身体の人たち」が働いていた時代があります。幼い時に病気で両手足をなくした中村久子（1897～1968）は、口に筆をくわえて文字を書き、楽器を演奏するなどの技芸を披露しながら、子どもを産み育てました。見物に来ていた高名な書道家から教えを受けたこともある久子は、「見世物小屋は私の居場所であり、初めて人間として、女として扱ってくれた場所でした」という意味のことを書き残しています。

映画は時代を写す鏡といわれます。障害者権利条約が批准され、多様性を尊重する機運が高まる一方で、不寛容や社会的排除も決して過去のものではない時代だからこそ、こうした映画がつけられ、多くの人から支持されるのではないのでしょうか。歴史の表舞台に登場しにくい、様々な事実を「障害福祉の歴史」として記憶に残し、語り継いでいく必要性を感じます。

時は春!これから社会福祉士として活躍する皆さんも、次回の試験に挑戦する皆さんも、映画など様々な文化に触れてリフレッシュしてはいかがでしょうか？ちなみに、漫画好き、読書好きの方は 2017 年 21 号の読書案内もご参照ください。

それではみなさま、またいつかどこかでお会いできることを願いつつ、受験対策ミニ講座 Plus Column は今回で一旦、終了します。最後までお読みいただきありがとうございました。様々な場面での皆さまのご活躍に期待をしています。

■Back Number

過去のバックナンバーはこちら→http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page_id=2686

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19KDX 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus

発信者： 公益財団法人 日本知的障害者福祉協会